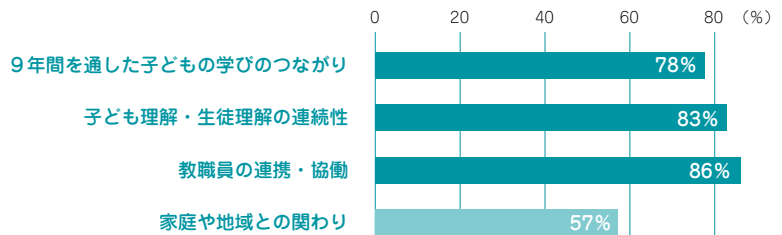


家庭や地域とともにある学校づくりの推進

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり

「小中一貫した教育」の推進の四つの視点の一つである「家庭や地域との関わり」の一層の充実を図り、学校が家庭や地域と一体となって、義務教育9年間の子どもの育ちを継続して支えていくことが大切です。

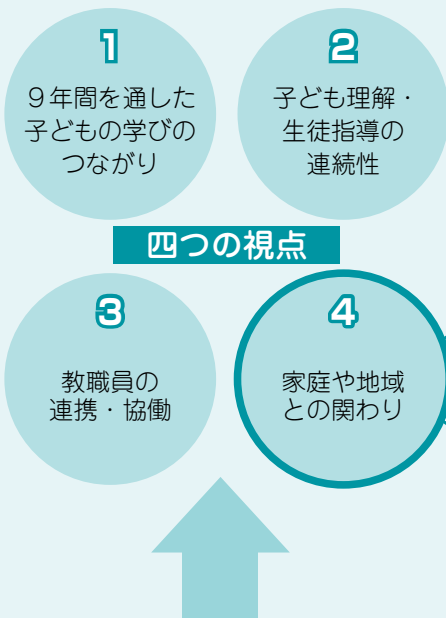
「小中一貫した教育」の四つの視点に基づく取組について、「取り組んでいる」と回答した学校の割合



令和4年度教育課程研究協議に係る事前アンケートより

令和5年度の包括的重点
にある学校づくり

札幌市における「小中一貫した教育」



家庭や地域とともにある学校づくり

- 【家庭や地域とつながるポイント】
- ① グランドデザインを基に、家庭や地域と子ども像や理念を共有する。
 - ② ①の実現に向けて、学校・家庭・地域の「役割分担」ができるようにする。

義務教育学校 令和5年度に本市初の義務教育学校「福移学園」が開校します。義務教育学校では、四つの視点に基づく取組を推進しやすい環境が整うことから、先進的な取組事例を全市へ還元し、「小中一貫した教育」の更なる推進につなげます。



※栄中学校区 地域協力者会議より

地域の方の思いを聞き、願いを知るとともに、グランドデザインを基に、地域の方と子ども像や理念を共有する様子

グランドデザインの目指す子ども像を基に、学校・家庭・地域の役割分担を位置付ける例

